

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	40	食事を楽しむためには、口腔機能・嚥下機能が保たれることが必要だが、グループホームにはこれに対する加算や看護配置基準はない。美味しく食べ易い食事を工夫しているが嚥下機能維持に対する認識は薄い。	嚥下機能維持のための嚥下体操を食事前(昼食時)に取り入れ入居者様の嚥下機能低下を防ぎ、歯科通院・往診にも配慮しながら最後まで経口摂取して頂ける様に取り組む。	嚥下機能低下防止の必要性を職員に深く認識してもらうため勉強会を実施し、嚥下体操をマニュアル化して職員全員が行えるように取り組む。	12ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月